南信州広域連合第５回広域連合会議　結果報告

日時：令和５年８月 17 日(木)　16：15～17：00
場所：事務センター206・207 号会議室

【出席者】13 市町村長(高森町長欠席)、副管理者
〔南信州地域振興局〕丹羽局長
〔飯田建設事務所〕唐澤所長
〔飯田保健福祉事務所〕松岡所長
〔飯田市リニア推進部〕牧島参事
〔下伊那郡町村会事務局〕岡庭事務局長
〔飯田広域消防〕北澤消防長、新井総務課長
〔環境センター〕飯田事務長
〔事務局〕吉川事務局長・小椋事務局次長
壬生広域振興係長・伊藤庶務係長・久保田庶務係主査・宮﨑庶務係主事

１　開会…16：15

２　広域連合長あいさつ

午前中にリニア関係の要対策土試験盛土現地視察を実施した。その際のぶら下がり取材への対応について情報共有したい。実際に現場を見たことでイメージが湧いたことと、市町村としては冷静に対応したいという話をした。冷静にという意味は、実証試験による数字や他の公共工事でもこのような事例があることをお伝えしながら、ＪＲ東海と地元との間に立って話をしたいという趣旨で話をしたので共有する。

信州大学新学部誘致について、７月 31 日に信州大学の理事が来庁し、話を聞いた。情報系の人材育成については、新学部の創設ではなく、大学院の増員により対応するという内容であった。このことについては、８月の広域連合会議で、みなさんへお話しする予定であったが、その前に信州大学からコメントが出て、新聞記事となったため、第１報をメールで送る形となった。話が前後したことをお詫びしたい。メールにも記載したとおり、引き続き信州大学及びその他の大学に対しての学部誘致は続けていきたい。

新型コロナウイルス対策について、各地でイベントが行われていて、多くの方に来場いただいている。屋内のイベントでの換気が大切であることは常々申し上げている。管内の感染状況は決して収まっている状況ではないと認識している。エアコンを使用している状況の中で、換気が不十分にならないよう様々な機会を捉えて、みなさんからもお話をしていただきたい。

３　協議・報告事項

(1) リニア駅アクセス検討会等の構成メンバーについて【飯田市リニア推進部　牧島参事】～資料№．１～

リニア駅アクセス検討会議及びリニア駅前広場活用検討会議について、いずれも課題や検討要素に対して、全体会と分科会に分けて検討を進めていきたい。検討会議には、これまで検討を行ってきた長野県の関係部署、地域振興局、広域連合、伊那市及び駒ケ根市のほか、必要に応じて各自治体の関係部署からも参画いただきながら進めいていきたい。なお、それぞれの会議の開催時期については、広域連合事務局を通じて改めて案内をする。

(主な意見等)

豊丘村：開業が近づくにつれて、大手の事業者が注目してくる。そのような場合に、現時点では、地元の行政と事業者でやっていくということで良いか。

連合長：飯田市が整備する駅前広場に外のディベロッパーに入ってきてもらって、そこで収益を上げるという考えは持っていない。こちらの考え方を理解していただけるかがスタート地点になる。できるだけ、地元の方々を中心に飯田市の駅前広場については考えていきたい。

⑵ 令和５年南信州広域連合議会第２回臨時会について　【事務局次長】～資料No. ２～

ア 開催日時　令和５年８月 25 日(金)　10 時 00 分から

イ 開催場所　エス・バード

ウ 付議事件　報告１件
条例案件１件
一般案件１件

エ 議会日程

（日程１）会議成立宣言
（日程２）議員辞職許可報告
（日程３）議席の指定
（日程４）議会運営委員の選任
（日程５）総務産業委員の選任
（日程６）医療福祉委員の選任
（日程７）会期の決定（議会運営委員長報告）
（日程８）議案説明者出席要請報告
（日程９）会議録署名議員指名
（日程10）広域連合長あいさつ
（日程11）報告
報告第２号　令和４年度南信州広域連合飯田広域消防特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について
（日程12）議案審議
○ 条例案件
議案第10号　南信州広域連合火災予防条例の一部を改正する条例の制定について
○ 一般案件
議案第11号　財産の取得について
（日程13）議員派遣

※終了後全員協議会を予定

（質疑なし）

⑶ 飯田創造館閉館への対応について　【事務局長】～資料No. ３～

ア 現地見学会及び第２回協議の場について

令和５年７月 23、27 日に現地見学会を開催し、27 日の見学会に引き続き第２回の協議の場を開催した。飯田創造館と旧地場産業センターの床面積を比較したところ遜色のない面積が確保できると認識している。

イ 個別相談等でいただいた要望について～資料１参考～

・創造館にある設備・備品の移設、保管場所の確保について
・展示会場の確保について
・備品等の保管場所などについて

ウ 飯田創造館閉館に伴う旧地場産業センター管理運営の考え方について～資料２～

飯田創造館の利用団体のうち、利用を希望する団体は、団体間の連絡調整等を行う組織を設立し、管理運営の主体となり、行政はその支援をすることを提案した。

新たな活動の場については、行政サービスを展開する公の施設という位置づけではなく、施設を貸し出すというスタンスであり、現在の飯田創造館をそのまま移転するという考え方ではない。

エ 飯田創造館閉館に関する経緯について～資料No. ３－２～

R4/3/28　南信州広域連合が長野県知事に対し、(仮称)南信運転免許センターの設置場所等について、要望書を提出

R4/10/20　長野県知事と広域連合長の懇談(要望に対する県及び県警察本部からの回答)

R4/10/30　飯田創造館の今後の方針に関する説明会（参加者：報道含め67名）

R4/11/13　「飯田創造館を考える会」発足

R4/12/27、R5/1/22

利用団体等とのグループ別意見交換会（２日間、計３回、参加者：報道含め84名）

R5/2/21～R5/4/14　利用団体との個別相談会（計９日間、65団体）

R5/4/29　「創造館を考える会」が南信州広域連合長に署名を提出（5,128筆分）

R5/4/29　南信州広域連合長（飯田市長）が飯田創造館利用者と懇談（参加者報道含め83名）

R5/5/31　「創造館を考える会」が長野県知事宛に署名を提出（5,324筆分）

R5/7/5　第１回「協議の場」開催

R5/7/23,7/27　現地見学会（旧地場産業センター、旧工業技術センター、旧ＥＭＣセンター）

R5/7/27　第２回「協議の場」開催

※令和５年８月中に、第３回「協議の場」開催予定

オ 第２回協議の場の内容について

・新たな活動の場に必要な機能等について利用団体の意見を頂いた。

・管理運営の考え方について、利用団体が主体的に管理運営を行うことを提案した。また、管理運営に必要な資金について、行政としての準備を問われた。現時点での方針は決まっておらず、今後の協議で検討したい旨をお伝えした。

（主な意見等）

豊丘村：一連の経過としては、県の要望によるものであり、飯田市及び広域連合が調整に当たっているというもの。現実問題として連合長が矢面に立ってしまっている。我々も県と住民の間に立って調整しているということを抑えながら、住民へ説明する必要がある。

阿智村：本日、施設を見てみて部屋の広さやロケーション等確認したうえで、この場所が最適ではないかと感じた。飯田市長が矢面に立っているのは大変だと思う。各市町村に飯田創造館の利用者がいれば、施設の状況等を踏まえて丁寧に説明することが必要ではないか。

売木村：各町村にいる代表者の名簿を頂きたい。

連合長：用意する。

(4) 信州大学新学部誘致の取組について【事務局長】～資料No. ４～

前回の会議で総会の資料を示したが、８月 25 日の全員協議会に向けて状況変化があり、さらに資料の追加をする。

令和５年８月３日に信州大学のホームページに掲載されたコメントを追加。

令和５年８月４日に信州大学新学部誘致推進協議会会長が発信したメッセージを追加。

（主な意見等）

連合長：７月 31 日時点で、８月３日に中村学長が出すコメントについて、信州大学の理事から説明を受けていた。みなさんへの説明機会を設ける前にコメントが出たため、話が前後してしまいお詫びを申し上げたい。コメントの中で、新学部を設けないという言い回しではなく、情報系の人材育成については、大学院レベルで行うとおっしゃっている。事実上情報系の人材育成新学部はないということではあるが、当初想定していたものは、国の動きからしても難しい状況であるとは思っていた。新学部誘致の取組については違う領域で引き続きやっていきたいと思っている。当面のターゲットは信州大学であるが、それ以外の大学の動きがあれば歓迎する。県の方では私立大学の地方移転の意向調査を行うことになっているため、その情報も取りながら、引き続き新学部誘致に取り組んでいく。

(5) 飯田広域消防本部から【新井総務課長】

ア 小型救助車の配備について～資料No. ５－１～

総務省消防庁から小型救助車の配備が決定され、令和６年３月頃の配備予定。

当地域は地理的要因により、土砂、急峻・狭隘な地形などの劣勢環境が多く存在するため、機動力、搬送能力、登坂能力に優れた小型救助車を配備し、消防活動の充実強化を図る。

阿南消防署へ配備し、全域出動を予定している。出動計画の変更は行わないが、災害の状況により柔軟に活用したい。

イ 熱中症疑いによる救急搬送の状況～資料No. ５－２～

令和５年５月１日までの速報値

熱中症疑い搬送人員　99 名　（昨年同日比＋２）

８月４日から連休にかけて気温上昇が続き、８月 13 日には気温が 36 度となり、４件の熱中症疑い症例があった。熱中症警戒アラートが発令された場合、市町村の協力を頂き、防災行政無線で熱中症予防広報を実施していきたいと考えている。

ウ 令和５年・令和４年市町村別火災発生状況～資料No. ５－３～

火災総件数　49 件(昨年同日比＋１)

火災の少ない時期ではあるが、雨の降らない日が続き、たき火に起因する火災が１件、枯れ草が燃える火災が２件となっている。火災多発期に備えて、住宅火災における高齢者の犠牲をなくすため、高齢者クラブでの防火出前講座や住宅用火災警報器の設置推進に取り組む。

（質疑なし）

(6) 南信州いいむす21判定登録について【壬生広域振興係長】～資料No. ６～

ア 新規１件

【飯田広域消防　伊賀良消防署　(97pt　★×10)】

→　異議なし。承認となる。

イ 更新４件

【愛光電子株式会社　(97pt　★×10)】

【井坪設備工業有限会社　(61pt　★×７)】

【株式会社ヨシガズ　本社工場　(100pt ★×10)】

【株式会社タニガワ　(92pt　★×10)】

→　異議なし。承認となる。

(7) 後援依頼について【伊藤庶務係長】

ア IoT導入研修　～資料No. ７－１～

期　日：令和５年10月30日(月)、10月31日(火)、11月14日(火)、11月30日(木)、12月1日(金)
12月12日(火)、12月26日(火)、令和６年１月10日(水)、１月23日(火)

場　所：エス・バード(飯田市)、株式会社協和精工(高森町)

主催者：公益財団法人長野県産業振興機構

共催者：公益財団法人南信州・飯田産業センター(予定)

→　異議なし。承認となる。

イ 第34回島岡吉郎旗野球大会　～資料No. ７－２～

期　日：学童の部　令和５年９月２日(土)、９月３日(日)
中学生の部　令和５年８月19日(土)、８月20日(日)

場　所：高森町民グラウンド、高森中グラウンド他

主催者：高森町

共催者：高森町教育委員会、高森町公民館、高森町野球連盟、南信州高森ＢＣ

→　異議なし。承認となる。

ウ 第５回航空機システム環境評価試験シンポジウム　～資料No. ７－３～

期　日：令和５年11月７日(火)13時30分から11月８日(水)12時00分まで

場　所：エス・バード　大ホール

主催者：一般社団法人航空イノベーション推進協議会、航空機装備品認証技術コンソーシアム
公益財団法人南信州・飯田産業センター

共催者：長野県、信州大学、多摩川精機株式会社、NAGANO航空宇宙産業クラスターネット
(予定)

→　異議なし。承認となる。

エ 品川聖プロデュース南信州阿智村コンサートvol.14　～資料No. ７－４～

期　日：令和５年12月９日(土)　第１部：11時00分／第２部：13時00分／第３部：14時30分

場　所：南信州チャペル(阿智村)

主催者：品川聖阿智村コンサート実行委員会

→　異議なし。承認となる。

4 長野県から

(1) 南信州地域振興局

稼げる日本梨産地の再構築を目指して、令和４年６月 30 日に生産者や農協など農業関係団体、市町村及び長野県で構成される、南信州日本梨産地再生プロジェクトを設立した。人材の確保、栽培上の課題解決、技術開発、品種育成、販売戦略及び商品戦略について目標を掲げて活動している。販売戦略と商品戦略の構築について、日本梨を使用した菓子等の商品開発に取り組んだ。令和４年 10 月 26 日には７事業者の商品を報道機関へ紹介するお披露目会を実施。その後、賛同いただいた事業者を含めた 13 事業者から 17 の新商品を完成させた。地域振興推進費を活用し、食べられるマップやポスターなどを作成し、８月 15 日から参加店舗で一斉に販売を開始。日本梨の収穫時期に合わせて 10 月 31 日まで販売する。南信州日本梨産地再生プロジェクトへのご理解とご協力をお願いしたい。

(2) 飯田保健福祉事務所

・抗体が無くなったとしても、抗体を作る細胞が残っていれば、新たに感染した場合でも抗体が生成される。通常記憶細胞は１年以上残っている。

※資料に基づきワクチンに対する考え方について説明がなされた。

5 閉会･･･17 時 00 分